ボーイ隊報告　2014.8.14～17

今回、ボーイ隊は八月十四日～十七日にかけて埼玉県の名栗にあります『名栗すこやか村』にキャンプに行ってまいりました。

一日目、朝六時半に集合、遅刻者もあり・・・ちょっと不安な出発・・・JR線にて沢井駅へここから熊原ビーバー隊長のお友達の山谷さんが合流して登山オブザーブしてくれることとなりました！ホントに助かりました！ありがとうございます。そこからバスで登山道へ～ってゆうかバスがない・・・踏査したのは休日で本日は平日・・・お昼までバスがない・・・仕方がなく登山道まで一時間徒歩で歩くことに、沢の涼しい風を感じながらの登山、女の子チームが遅れ気味、何とか山頂へ、でもガスってて景色がみれない・・・残ったものは達成感のみ？（笑）とにかく下山してキャンプ場に急ぎました雨も降らないままキャンプ場に到着、先についたスカウトがもうテント建ててるし・・・子供会じゃないんだから・・・入村式ぐらいやろうよ・・・とにかく、日が暮れるまでに設営を！！テントを建てて、立ち釜作ってうっておいおい何でみんなで立ち釜作ってる！！テーブルに調理台をつくれっコーの！とふと考えたら今回のキャンプですが十名の参加者に対して経験者が三名・・・そりゃ、班の中でイニシアチブとれる人がいないわなあ、しばしサイトの製作の指導をしました、日も暮れて夕食の準備おいしくできるかな？作り方は教えて自分の寝どこを作りに行きました、下でご飯の歌が聞こえたころにお邪魔しました、ちょい試食してもらったらサワーライスがすっぱすぎ（涙）何で四人しかいないのに味噌汁十杯分作ってるう・・・そんなこんなで初日終了！

二日目、朝の点検が終わり一人の訪問者が！四月に大阪に転校した小路君がキャンプに参加してくれるため大阪から駆けつけてくれました、みんなぎこちない再会になるのかな？でも制服は世界共通だよね数秒でもう班に入っていました（笑）

本日のプログラムはカヌー教室で名栗湖にむけて出発、ライフジャケットを着てカヌーへ、うまく乗れるのかな？みんな順応力あるのかなすぐに湖の真中へすごいすごいうまいなあ！しばし観賞してたら女の子チームの船が戻ってきました・・・「隊長！沈没の練習したい！！」え？ってゆうか小路ママも乗船してるし・・・巻き添えを食らってママも転覆・・・（爆）みんなで最後に競争して湖をあとに、昼食を取りにキャンプ場へ戻りました！

午後にはカブ隊もキャンプに合流、一気ににぎやかに夕食は鳥を丸ごと買ってきてさばいてから揚げにしました。とても美味しかったなあ！夜は外にシャワーを作ってみんなで浴びることに（女の子はカブサイトのシャワーで！）これがめっちゃ気持ちいいんですよ！！同じ釜の飯を食うとありますがリーダーも同じシャワーを浴びる！！上から流れてくるお湯がたまに真水になるお約束もありいの（笑）でも小路パパも一緒に浴びてくれてホントに一体感を感じました！

三日目、朝のセレモニーが終わり、本日の課題はワラジを作り川を登ってみること！昨年の経験者は指導にまわり煎餅のようなワラジに、穴が開いてるワラジ等々いろいろ出来ました、午後雨が降ってきて川には行くことができなくなってので午後はキャンプファイヤーのネタつくりにあてて、本日の夕食はビーバーとカブとボーイの持ち寄り料理でパーティーをすることに、ここで僕は植竹君を責任者に指名しました！彼はここまで大役をまかされることもなくボーイ隊をやってきてここで誰かのために汗を流す！みんなが彼の焼いたお好み焼きを美味しく食べてくれるそんな光景をみせる機会を与えてあげたかったのです。

焼き始めたら熱いだののどが渇いただの煙いだの色々言ってましたがそれがお仕事！！お父さんもお母さんもそうやっていつもがんばってることわかってくれたかな？最後にカブやビーバーのみんなから賞賛の拍手をもらっている彼の笑顔には一皮むけたような男の子に顔に見えました。

夜には突然の雨でキャンプファイヤーが中止になり室内ですることになりました、数年前の五団のファイヤーってなんか空回りしてた感じがあったけど カブを中心にすごくしまったファイヤーを感じることが出来ました外でやりたかったなあ・・・

最終日、小雨降る中、撤営を行い 帰路へ着くことに、ここで小路家とはお別れとなることにさみしくなりますが彼はきっと僕より大きなスカウトに成長することを僕は期待しています。

バタバタしたキャンプで一息もつかないうちに東京へ帰りまた仕事へ戻った夜、小路ママから二通のメールが届きました、その中に「彼のSTAND　BY　ME」と書いてありました、大阪から昔の友達を訪ねて東京へ、そしてキャンプ！ご飯をつくってテントで寝て、何を語り合ったのだろう？何がおいしかったのだろう？彼だけではなく今回参加したスカウトみんなを俯瞰で見てみるとみんなのSTAND　BY　MEが見えてきました、ひと夏の経験と思い出は人生の中のほんの一瞬かもしれないけどわすれることのない思い出になること、経験が明日への力になったことを確信して本年度のキャンプを締めくくりたいと思います。

ボーイ隊　隊長　内野修次

カブ隊報告　2014.8.15～17

お疲れ様でした。初日は、隊長がギリギリ集合時間に間に合い、ドタバタの中出発しました。実は、藤田さん忘れて来ちゃいました。

青梅街道駅でみんな揃い電車で吾野まで。途中、小さなハプニングはあったものの三〇分遅れでスタート。暑く三〇分おきに休憩を取りながら歩きました。与寛、悠太は隊長の後をしっかりついて来るのだけど、いつも日奈で間隔が広くなる。けど、ずっと元気に歩き通しました。途中、頭が痛くなったり、お腹が痛くなったりするスカウトもいましたが、ほぼ完歩しました。九時スタートで到着二時半、暑い中、リーダーさんも良く頑張りました！

今回の夏キャンプのテーマは妖怪。多くの仮装したオバケさん達に出迎えていただきました。入村式の後、スタンツ会議。組集会で練習してきた、スタンツを更に完璧に仕上げていきました。夕食は超豪華。何種類ものオカズが並びました。食事の時間をたっぷり取り、肝試しを古民家内で行いました。これは毎食後のコーヒー以外の唯一、隊長の楽しみ。トイレに隠れ脅してやりました。三つあるトイレの内、一つドアを開ける約束だったのに与寛、河田デンリーダー補は無断通過。悠太、丈弥はちゃんと脅し、それなりの反応を頂けました。

みかちゃんと日奈もスルーされたので、後ろから追い掛けたら危うく泣いてしまうところで止めました。隊長、と一言残して笑顔で去って行きました。智貴は驚くと、ライトの光を顔の前で左右に何回も降り訳の判らない行動を取り始めたので泣かれる前に正体を明かしました。大樹、琢磨、瑠花は普通に驚いてくれました。美咲と瑠花は女の子だから少し優しく、康生、哩央、碧は暑さのこもる二階で菊池副長、藤田さん、小路ママさん、田島さん、山崎さんがバテてしまい、時間切れで三人組で悠々と来たので脅してやったけど反応薄くすかりました。一日目の行事はこうして終わったのですが、なかなか興奮してか眠れませんでした。

翌日、今年は珍しく長雨に祟られ、スカウトも川に入れずにガッカリしていました。午前はうどん作りを顔中白粉し赤い口紅で化粧したうどん婆さんから教わり作って食べました。太かったり、細かったり、ほぐれてなかったりといろんな食感を楽しめました。食後はキャンプファイアの歌の練習。川登りが出来なかったので、みんな鬱憤が溜まり家の中を走り回り、川島さんの逆鱗に触れました。ビーバー、ボーイとの合同食事会を済ませて、いよいよキャンプファイア。みんな歌も声が出て、スタンツは一組、二組とも今までにない出来でした。練習すれば出来る。自信を持って臨める事が少し位解ってくれたかな。本日最終日、しっかり掃除して、予定より一時間早く帰路につきました。

こうして夏キャンプは無事終了しました。表彰受けた子、正当に評価してもらえなかった子、様々です。でもきっと感じてくれていると信じています。参加して良かったと、何が身に付いたかは今は判らないけど、夏キャンプで見たこと聞いたことは後々繋がっていくこと。良いことばかりでなく、反省点も沢山ありました。毎回終わってみて思うのが、この反省点を毎回改善すれば完璧なキャンプになるはずなのにとの思いです。

デンリーダー、デンリーダー補の皆様、慣れないハイクにプログラム、お化粧ありがとうございました。食当の皆様、毎回美味しい御協力ありがとうございました。参加すると楽しいこと、沢山思いつきます。子供と関われる短い時間を大切に、そろそろ新しい風を呼び込みましょう。

カブ隊　隊長　渡邉直樹